

0 にするためのコスメ Null

Cosmetics That Encourages Positivity

中村 咲貴

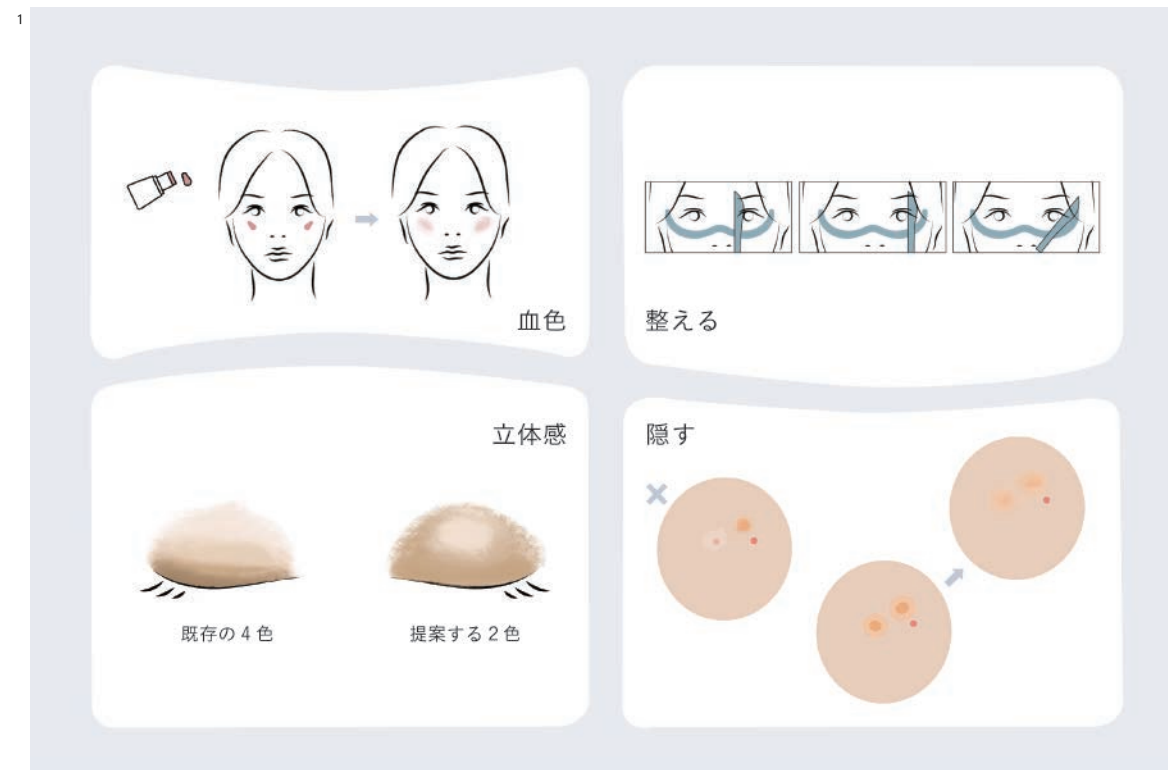


化粧という手段

大学生になる前、制服など画一された環境ではついでどこか周りの人と比べてしまった。そのままの自分を好きになることは理想だけれど、コンプレックスを隠せるという事実は気持ちを軽くする。マイナスに感じているものを 0 に。ポジティブに生きるため、始めやすい化粧とプロダクトを提案する。

Makeup As A Means To An End

Before becoming a university student, I often compared my appearance to those around me. The things that I often didn't like about myself are the things that stood out most. Ideally, I wanted to like myself just the way I am, but hiding it would have honestly been easier. I therefore propose a new type of make-up that allows one to live more positively.



1

化粧の役割ごとにアイテムを制作。少ない工程で済むこと、失敗しにくいことを目的としたパレットのデザイン。

2

苦手に感じやすく、顔の印象を左右する眉メイクに関しては、骨格にあった基準の3点を見つけるためのツールを提案。

3

文庫本と同じサイズにすることで、本棚と一緒に並べて置くことができる部屋を乱すことなく清潔感のある佇まいに。